プレスリリース

２０２６年１１月１１日

株式会社　MBS

「視聴データ活用」共同CM　11月から放送・配信
在阪民放5局のキャラクターが夢の共演

在阪民放５局（朝日放送テレビ、MBS、テレビ大阪、関西テレビ放送、読売テレビ放送）は、2026 年４月から実施している「テレビ視聴データ連携に関する共同実証実験」について、視聴者の皆様により広く、分かりやすくお伝えするため、共同CMを制作しました。2026 年 11 月から、各局の地上波放送およびウェブ上で順次放送・配信します。

普段は異なるチャンネルで親しまれている各局の人気キャラクターが、放送局の垣根を越えて一堂に会する特別なCM です。





共同 CM 制作の背景とメッセージ

在阪民放 5 局では、共同実証実験を通じて、インターネットに接続された関西地区のテレビ受信機から得られる視聴データを活用し、より魅力的な番組づくりや放送サービスの向上を目指す取り組みを進めています。

本 CM では、**「みなさんの"見たい"を、番組に！」**を合言葉に、この取り組みを親しみやすい CG 表現や、各局のキャラクターと視聴者役とのコミカルな掛け合いを通じて分かりやすく紹介します。

- **放送・配信開始時期**：2026 年 11 月から順次
- **放送・配信媒体**：在阪民放 5 局の地上波放送、TVer などの見逃し配信プラットフォーム、各局公式 YouTube チャンネルなど
- **出演キャラクター**：らいよんチャン（MBS）、エビシー（ABC テレビ）、たこるくん（テレビ大阪）、ハチエモン（カンテレ）、シノビー（読売テレビ）

・共同実証実験の概要

在阪民放 5 局は、2026 年 4 月から、各局が収集する視聴データを連携・集約し、共同で分析する実証実験を行っています。本実証実験の対象は、インターネットに接続された関西地区のテレビ受信機です。参加 5 局以外の視聴や録画による視聴は含まれず、一部の番組または機器については視聴データを集約しません。詳細は共同実証実験の案内ページをご確認ください（https://www.asahi.co.jp/experiment2026/）。

- **視聴台数の推移を 1 分単位で可視化**

  集約したデータを用いて、局ごとの視聴台数の推移などを 1 分単位で可視化し、どの番組やコーナーが多く視聴されているかを詳しく分析します。

- **関西のテレビをより面白く、視聴者本位の編成へ**

  本実証実験では、得られた分析結果を編成・制作の現場などへフィードバックし、番組企画のブラッシュアップや放送サービスの向上に役立てます。

・プライバシー保護とデータの安全性について

視聴者の皆様に安心してテレビをご覧いただけるよう、収集するデータは法令およびガイドラインに則り、プライバシーに十分配慮した取り扱いを徹底しています。

- **本実証実験で取り扱う主な情報**：視聴時刻、テレビ端末の識別子、IP アドレス、郵便番号など
- **個人特定の非該当性**：氏名、住所、電話番号、生年月日などの個人情報は一切含まれておらず、特定の個人を識別できる情報は含みません。
- **利用目的**：番組の制作・改善、編成・マーケティング分析、広告セールスのための分析などに活用します。
- **保管・提供・消去**：本実証実験で集約する視聴データは日本国内のサーバーに保管します。視聴データそのものを第三者に提供することはありませんが、視聴データを統計処理した検証結果を第三者に提供する場合があります。収集から 18 か月を経過したデータ、または利用しないデータは速やかに消去します。

・視聴データの送信停止（オプトアウト）について

視聴データの送信を希望されない場合は、視聴者ご自身の操作により、いつでも簡単に送信を停止（オプトアウト）することができます。

1. テレビのリモコンにある「d（データ）」ボタンを押します。
2. 画面上に表示される「データ放送」メニュー内の「視聴データについて」など、各局が設ける該当項目を選択します。
3. 画面の案内に沿って、視聴データの送信を停止する設定を行います。

※送信を停止するには、放送局ごとに設定する必要があります。

以上

本件問い合わせ先：コンプライアンス局広報部